

コンゴに公正で平和な選挙を！

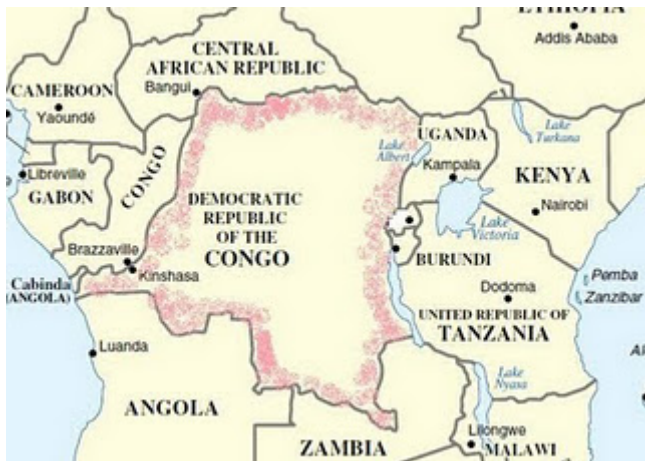
コンゴ民主共和国 フェリックス・チセケディ・チロンボ議員との懇談



10月21日、東京都内で、来日中だったコンゴ民主共和国(以下、コンゴと略)「民主社会進歩連合(UDPS)」の国会議員のフェリックス・チセケディ・チロンボ議員、日本在住のコンゴ人で UDPS 日本支部メンバーのムポイムポイ・カントさん、カララ・カザディさんと、小峯茂嗣 ARC 事務局長他5名のスタッフが懇談を行い、11月28日に行われるコンゴの大統領選挙について話し合いました。

コンゴ民主共和国の紛争と選挙

冷戦後世界最大の紛争といわれるコンゴ民主共和国の紛争。現在も続いており、10年間で約540万人が亡くなっている。死者数の約9割以上は、暴力ではなく、病気や飢えが原因。紛争によって物流や社会保障といった社会の機能が崩壊したことが背景にある。国内の中央政府と反政府勢力との権力争い、資源などをめぐる武装勢力同士の争いなど、複雑に絡み合っているのがコンゴの紛争である。2006年の大統領選挙においては、大統領候補の支持者間で砲撃を含む暴力行為が見られた。11月28日、大統領選挙及び議会選挙がおこなわれる。



コンゴ民主共和国と周辺国

フェリックス・チセケディ・チロンボ議員：みなさん、本日は来



て頂いてありがとうございます。UDPSは90以上の野党の連合です。私はその野党の友好な連立関係の維持を担当しています。今回は特別に、11月28日の選挙が公正に行われるように国際社会にうったえるために、エティセンヌ・チセケディ代表もアメリカなど全世界を外遊しています。スケジュールの関係で日本には来れなかったのですが、党の渉外担当である私が日本に行くように命じら

れました。そこで国会とか外務省に足を運んでおりました。その際、衆議院議員の阪口直人議員を訪問した際に、同じく衆議院議員の首藤信彦議員(ARC創設委員で元ARC委員長)を紹介されて訪問しました。首藤先生と話している時に、「アフリカ平和再建委員会(ARC)というNGOがあるので、電話してみてください」と言われ、その場で小峯さんに電話をしたという次第です。今回の選挙が公正で平和的に行われるために、ARCさんはどういうことが例えば可能なのか、すごく知りたいと思っています。

コンゴの政府は今、独裁体制にあり、中には政府の金をポケットに入れている人もいます。そして国民に暴力を向けています。

私は、ARCのみなさんがアフリカの友人のように思えますが、あなた達みたいな人を増やしたいと思っています。私は今、11月28日の選挙の結果を世界の多くの人たちに知ってもらえるように、

世界のあちこちで伝えているのです。そうするとコンゴの人は、自分達の選挙で、自分たちの意思を示せるようになるからです。

ARCは今までアフリカでどんな活動をされてきたのですか？

小峯事務局長：ARC という団体は1994年のルワンダのジェノサイドをきっかけに発足しました。今にいたるまで、ルワンダのローカル NGO を支援するやり方です。これまでやってきたのは、女性の洋裁学校の支援、戦災孤児の奨学支援などをしてきました。またジェノサイド直後には住宅再建の支援なども行ってきました。それらは、ルワンダの NGO の活動を支えるという形でやりました。それは、やはり戦争の後の復興の主人公はルワンダの人たちだからです。またアフリカの紛争問題を広く伝えるために、「ストップ子ども兵士アクション」というキャンペーンを行っていて、アフリカの子ども兵士問題をあつかった映画などを通じて、アフリカの紛争問題についての関心を広める活動をしています。



私は個人的に NGO として選挙監視員もやったことがありまして、それはフィリピンやタイ、東ティモールでやりました。NGO とは特定の政党を支援することはありません。ですけど、選挙はやはり公正に行なわれるべきで、それが紛争後の社会の安定に大きくかわるということで、そういった選挙監視活動に携わったことはあります。

カント氏：私たちも、コンゴの特定の政党を支援して下さいということではなくて、コンゴの選挙の状況はこうなっているよとか、いろいろな情報を私たちが ARC に提供して、その情報を日本の中で関連したところに紹介してもらえればと思っています。

チセケディ議員：例えばですね、コンゴのことを分からない人たちが日本にはいっぱいいると思います。そういう人たちに、選挙に関連する不正や暴力の実態についての情報を、例えば大学とか、他の NPO のネットワークの中で広めてもらいたいと思うのです。これから行われる選挙に関しても、いろいろな問題があって何が起きるかまだ分かりません。もしルールが破られて、選挙が不正や暴力に見舞われたら、日本や、ヨーロッパとかアメリカの人たちが分かるような状況にしたいと思います。



「コンゴに平和な選挙を」2011



ARC はインターネットのソーシャル・ネットワーク Facebook に、『コンゴに平和な選挙を』2011 というキャンペーンサイトを開設しました。これは、「何か起きた後に動くんじゃなく、何かが起こらないように今動こう！」を合言葉に、コンゴで 11 月 28 日に行われる選挙について発信し、世界が見つめることで公正で平和的な選挙になるようにうったえるものです。そのために、このサイトでは、選挙にまつわる不正や暴力についての報道を紹介したり、また在日コンゴ人の協力を得ながら、日本では報道されない暴力や不正などの現地情報も発信していきます。海外の運動とも連携しつつ、日本国内での関心を引き出したいと思います。

<http://www.facebook.com/drc.peacefulelection2011>

このページに「いいね！」をお願いします！

Facebook 上で「シェア」して情報を広めてください！

UDPS について

「すべての人々に正義と平和を」をスローガンに一貫した非武装主義に基づいた民主運動を行うべく結成された、コンゴの主要な野党。1982年に結党。90年代の民主化要求の高まりを受け複数政党制への憲法修正案が可決されたものの、独裁的な政治体制に対し、民衆の選挙参加への自由、言論の自由、複数政党制の確立、自由市場の本格的導入による経済基盤の構築を主な目的とし、活動を行っている。現在の党首はエティセンヌ・チセケディ・ワ・ムルンバ Étienne Tshisekedi wa Mulumba (1991年、1992-1993年、1997年の三度に渡り首相就任)。

アフリカ平和再建委員会

Africa Reconciliation Committee: ARC-JAPAN



〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ511
Tel/Fax: 03-3351-0892 E-mail: headoffice@arc-japan.org
ホームページ <http://www.arc-japan.org>

ツイッター始めました！

アフリカの紛争と平和に関するや情報の発信をしています！

@ArcJapanNews

どんどんフォローしてください！